

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				1. 生活の場で一人ひとりに合わせた支援をします。 2. 利用者ができること、やりたいことを広げます。 3. 最後まで自宅で」を支えます。 4. 様々な専門職とチームで支援します。	自己評価にある通りできていると考えられます。					
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				事業所内研修や会議の場で周知を図っている。	自己評価にある通りできていると考えられます。					
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			法人内の各層別研修への参加や全国定期巡回連絡協議会研修へ参加。	自己評価にある通りできていると考えられます。					
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				人事考課の結果や職員の意向を確認し配置している。ICT機器を活用し適宜技術指導できる体制を整備している。	自己評価にある通りできていると考えられます。					
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				1. 訪問看護によるアセスメントの実施 2. メルタスを活用して日々の情報共有を実施している。	自己評価にある通りできていると考えられます。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				短期入所職員との連携で24時間体制のオペレーター体制を構築できている。深夜・早朝帯の訪問体制をより柔軟な体制にする為に早番や遅番、4時間勤務など複数のシフト体制を整備している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			事業所内会議等で周知を図っている。過少供給等の指摘事例はないが、今後は協働マネジメント体制を構築させ状態や状況にあった供給を目指す必要がある。	自己評価にある通りほぼできていると考えられます。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				情報に変更がある都度、システムの更新を行い正確な情報を共有できている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	○				交通安全は、事業所内研修にて実施予定、災害対策についてはマニュアルでの周知となっている。BCP計画書は整備し研修会、机上訓練を実施している。	自己評価にある通りほぼできていると考えられます。BCPについては、定期的に訓練を実施することを推奨します。
②	利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報は、原則キャビネット等で保管している。システムでの情報はセキュリティロックを常時実施不正アクセスを含めたの情報漏洩を防止している。	自己評価にある通りできていると考えられます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
Ⅱ 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				利用開始時と毎月モニタリングにて確認している。定期的な計画見直し時期に再アセスメントしている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				月1回以上は、連携先の訪問看護師によるアセスメントを実施し計画作成責任者によるつけあわせを実施している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				ADLの向上や認知症進行防止を視野に入れた計画作成	自己評価にある通りできていると考えられます。
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			看護師によるアセスメント結果と日々の情報を計画に反映させている。	自己評価にある通りほぼできていると考えられます。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				体調や本人や家族、近隣住民の要望などに合わせ提供日時を設定している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				短期目標期間内に1回以上モニタリングを実施し、メルタスへ投稿している。状況に応じて計画の変更を実施している。	自己評価にある通りできていると考えられます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				看護職としてのアセスメント結果を元に介護職への指導助言を行い効果的なサービスを提供している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				訪問看護師による予防処置などの指導を適宜実施している。今年度は、感染予防対策についての助言を多く頂いている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				契約時に重要事項説明書を用い説明し同意を得ている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書へ署名を頂くときに説明を行っている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○	○			利用者宅に置く連絡帳や電話・メールで適宜実施している。今後はLINEの活用を検討している。	自己評価にある通りできていると考えられます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				直接の連絡の他、ICTを活用しての情報共有がされている。それも元に提供日時等を決めることが出来る。	自己評価にある通りできていると考えられます。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている	○				ケア内容の細分化を行いフォーマルケア・インフォーマルケアを導入している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			状態・状況の変化時や、目標の見直し時期に、サービス担当者会議を開催し情報提供がされている。	自己評価にあるほぼ通りできていると考えられます。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）	○				サービス担当者会議を活用し検討が行われ、保険外サービスの導入につながっている。日常生活の範囲を超える支援は保険外対応又は他社の保険外サービスの提案をしている。家族や近隣の方の負担にならないレベルで協力を仰いでいる	自己評価にある通りできていると考えられます。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			ケアマネージャーが中心となり、主にサービス担当者会議の場で検討し共有している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				R6年度から介護情報公表システムを活用し公表している。	自己評価にあるほぼ通りできていると考えられます。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域密着型施設の運営推進会議の場を活用し地域への広報周知を実施した。	自己評価にあるほぼ通りできていると考えられます。地域で開催されている行事や定例会等の活用を推奨します。
(2) まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○				今後、在宅で生活する高齢者が増加することが見込まれる。住み慣れた地域での生活が継続できる為に必要なサービスとしての確立が求められている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等への訪問は無く、地域への訪問を主としている。	自己評価にある通りできていると考えられます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）	○				独居世帯の方でも在宅生活が継続できるよう、家政婦紹介所などの保険外サービスや宅配サービス、配食弁当サービス、身元保証協会などを活用するようにしている。	自己評価にある通りできていると考えられます。
Ⅲ 結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				利用者ごとに目標の見直し時期や状態の変化時などに評価を実施している。	自己評価にある通りできていると考えられます。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				24時間連絡ができ、必要な時には訪問してもらえるから安心であるという声を頂いている。	自己評価にある通りできていると考えられます。